

2022(令和4)年10月7日

# HPV感染症の予防接種に関する 相談支援・医療体制強化のための 地域ブロック拠点病院整備事業の現況について

愛知医科大学病院 疼痛緩和外科・いたみセンター

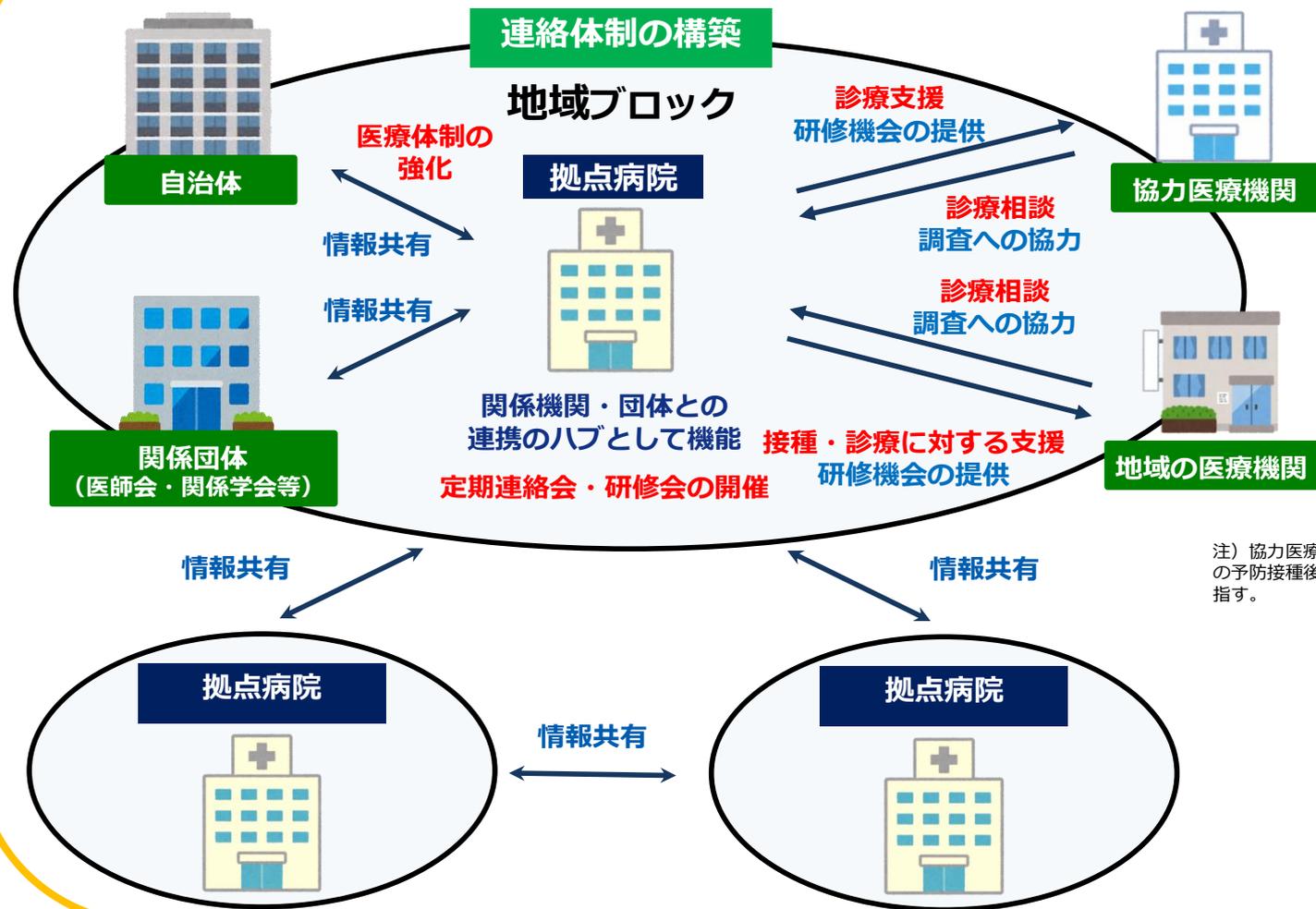
牛田享宏

- 目的：ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症の予防接種を進めるにあたって、協力医療機関の中から、地域ブロック別に拠点病院を設け、HPV感染症の予防接種に関する相談支援・医療体制の強化を図る。
- 事業内容：日本全国を8ブロックに分け、地域ブロック別に拠点病院（原則1医療機関）を選定する。拠点病院は、医療機関・自治体・関係団体等との連携のハブとして、下記のような役割を担う。
  - 協力医療機関や地域の医療機関との連携を構築し、研修会等の実施を通して、協力医療機関の診療支援・地域の医療機関に対する情報提供を行い、よりよい診療体制の構築に寄与する。
  - 都道府県・市町村・医師会・学校関係者・予防接種センター等との連携を構築し、情報共有を行う。
- 選定された医療機関は以下のとおり。

北海道	⇒	北海道大学病院
東北	⇒	福島県立医科大学附属病院
関東・甲信越	⇒	順天堂大学医学部附属順天堂医院、横浜市立大学附属市民総合医療センター
北陸	⇒	富山大学附属病院
東海	⇒	愛知医科大学病院
近畿	⇒	京都府立医科大学附属病院
中国・四国	⇒	岡山大学病院
九州・沖縄	⇒	九州大学病院

# ブロック拠点病院 連絡会議

各ブロックの相談支援・医療体制強化の進捗および今後の活動の方向性を確認する。



地域ブロック内での事例や知見の共有等を通して、協力医療機関の相談支援・医療体制を強化する。

HPV感染症の予防接種や接種後の症状に対する診療等の情報提供を行い、地域の医療機関の相談支援・医療体制を強化する。

注) 協力医療機関とは、ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関を指す。